

日立市議会だより

Hitachi City Council News, 2015.April

NO. 191

平成27年4月5日



大甕駅西口広場のイメージ図

第1回(3月)定例会 3/4~3/20

平成27年第1回定例会では、新庁舎整備事業に係る第1期本体工事の契約議案を可決し、平成29年夏の供用開始に向けて工事が開始されました。

また、池の川さくらアリーナや多賀消防署、大甕駅舎等の建設費を始め、新交通（BRT）第2期区間の整備費、救急医療及び小児・母子医療体制を確保するための各種財政支援などが盛り込まれるなど、過去最大規模となった平成27年度一般会計予算のほか、国民健康保険事業など9つの特別会計予算、認定子ども園などの利用者負担額を定める条例の制定や、中学生の通院まで医療福祉費の支給を拡大する条例の改正などの議案を審査し、いずれも原案のとおり認めました。

最終日には、市民に開かれた議会運営を目指し、市議会の役割や市民との関係などを定める議会基本条例が、議員から提案され可決しました。



この市議会だよりは、議長・副議長と各会派から選ばれた議員で構成する議会報編集委員会がまとめたものです。

発行 ●日立市議会 / 〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎ (22) 3111
●年4回発行 IP電話050 (5528) 5000



大甕駅西口のイメージ図

大甕駅周辺地区整備事業

大甕駅周辺地区整備事業では、駅舎や駅の東西を結ぶ自由通路を始め、東西駅前広場を整備します。

西口駅前広場は、新交通（BRT）第2期区間の整備に合わせ、茨城キリスト教学園がある大甕駅西側に、BRTや一般車の乗降場を整備するもので、BRTに並行して西口への南北アクセス道路も新設され、日立市の南部地区の交通結節点が生まれ変わります。



第1回 定例会 3/4~3/20

▼平成27年度一般会計予算
《歳入は、大甕駅周辺地区
整備事業と市道の歩道整備
事業への社会資本整備総合
交付金など。歳出は、日立
駅中央口と常陸多賀駅西口

◇審査した主な議案
議案9件（予算3件、補正
予算2件、条例4件）を審査
し、いずれの議案も原案を認
めました。4件の要望を行
いました。

総務産業委員会

委員会審査の結果

常任委員会・特別委員会で、議案などをより慎重に専門的に審査を行います。

○国の地方創生の動向を注視しながら、庁内関係各課が綿密に連携し、新たに創設される交付金へ速やかに対応されたい。
○市民全体でさくらのテングス病対策を実施するとともに

〔要望〕
に防犯カメラを設置する経費、空き店舗等を活用し、女性や若者の起業等を推進するため、店舗等の改修や初期投資費用を補助する経費などの計上



かみね公園に咲く日立紅寒桜（宮田町）

に、日立固有の品種である日立紅寒桜の位置付けの明確化と育成強化を図り、魅

提出された議案等の一覧

【平成27年3月4日提出】

- 議案第1号 平成27年度日立市一般会計予算
- 議案第2号 平成27年度日立市国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第3号 平成27年度日立市簡易水道事業特別会計予算
- 議案第4号 平成27年度日立市公設地方卸売市場事業特別会計予算
- 議案第5号 平成27年度日立市介護保険事業特別会計予算
- 議案第6号 平成27年度日立市介護サービス事業特別会計予算
- 議案第7号 平成27年度日立市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算
- 議案第8号 平成27年度日立市後期高齢者医療事業特別会計予算
- 議案第9号 平成27年度日立市水道事業会計予算
- 議案第10号 平成27年度日立市下水道事業会計予算
- 議案第11号 平成26年度日立市一般会計補正予算（第5号）
- 議案第12号 平成26年度日立市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第13号 平成26年度日立市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第14号 平成26年度日立市水道事業会計補正予算（第2号）
- 議案第15号 平成26年度日立市下水道事業会計補正予算（第3号）
- 議案第16号 平成26年度日立市工業用水道事業会計補正予算（第3号）
- 議案第17号 日立市一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について
- 議案第18号 日立市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について
- 議案第19号 日立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定について
- 議案第20号 子ども・子育て支援新制度の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第21号 日立市職員の給与に関する条例及び日立市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 日立市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 日立市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第24号 日立市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第25号 日立市介護サービス利用料条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 日立市計量検査所条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 日立市建築基準条例及び日立市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第28号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第29号 日立市新庁舎整備事業第1期本体工事の請負契約の締結について
- 議案第30号 (国) 大甕北こ線橋桁製作工事の請負契約の締結について
- 議案第31号 日立市民会館の指定管理者の指定について
- 報告第1号 専決処分について（訴えの提起について）
- 報告第2号 公益財団法人日立市公園協会に係る平成27年度の経営状況に関する説明書提出について
- 報告第3号 公益財団法人日立市科学文化情報財団に係る平成27年度の経営状況に関する説明書提出について
- 報告第4号 公益財団法人日立地区産業支援センターに係る平成27年度の経営状況に関する説明書提出について

【平成27年3月9日提出】

- 議案第32号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

【平成27年3月20日提出】

- 議案第33号 日立市議会基本条例の制定について
- 議案第34号 日立市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

力あるさくらのまちづくりを一層推進されたい。

○災害時における消防車両等への燃料の供給体制の強化と経費削減のため、南部や北部地区への自家用給油取扱所の整備を検討されたい。

▼平成26年度一般会計補正予算《定住促進事業として子育て世代が市内に住宅を取得する際の費用の一部を補助する経費などの計上》

【要望】

○定住促進事業を全庁的なものと捉え、補助だけではなく、住みやすさもPRするなど本市独自の充実した施策を検討されたい。

教育福祉委員会

議案14件（予算5件、補正予算2件、条例7件）を審査し、いずれの議案も原案を認めましたが、1件の要望を行いました。

◇審査した主な議案

▼平成27年度一般会計予算《子ども・子育て支援新制度に移行する私立認定こども園等に対する運営費や、延長保育、一時預かり事業の委託費、平成28年度までの継続事業で進められる運動公園新中央体育館建設事業費や耐震化を図る諏訪小

学校の校舎改築事業費などの計上》

【要望】

○日立特別支援学校について、児童生徒数の推移を踏まえ、施設整備の在り方を整理するとともに、県への移管の可能性についても、県の意向を踏まえながら検討を進められたい。

▼平成26年度一般会計補正予算《ひたち医療センターの医師確保や救急医療に係る機器整備の補助などの計上》

▼医療福祉費支給に関する条例の一部改正《医療福祉費（マル福）の支給範囲を10月1日から中学生の通院に係る医療費まで拡大する》

環境建設委員会

議案11件（予算4件、補正予算4件、条例1件、契約1件、その他1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

◇審査した主な議案

▼平成27年度一般会計予算《泉が森体育館の屋根防水工事や油縄子交流センター冷暖房設備の改修を行う経費、大甕駅舎や自由通路及び南北アクセス道路の整備を行う事業費などの計上》



大甕駅東西自由通路の完成イメージ図

▼平成27年度水道事業会計予算《施設更新計画に基づく送水管の更新工事及び実施設計委託などの計上》

▼平成27年度下水道事業会計予算《池の川処理場機械棟耐震診断委託や水処理棟耐震補強工事などの計上》

▼(国)大甕北こ線橋桁製作工事の請負契約の締結《完成の期限を平成28年3月31日として宮地エンジニアリング株式会社と契約》

幹線道路整備促進特別委員会

議案1件（予算1件）を審査し、原案を認めました。

◇審査した議案

▼平成27年度一般会計予算《市内各所幹線道路整備事業費の計上》

新庁舎建設特別委員会

議案2件（契約1件、予算1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

◇審査した議案

▼平成27年度一般会計予算《工事監理及び施工支援業務委託料、工事請負費、仮設倉庫棟などの賃借料や負担金、物件移転補償費などの計上》



3月25日に執り行われた新庁舎建設工事起工式

人事案件

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意
斎藤 一世氏

議会基本条例を制定しました

市議会では、市民にわかりやすい議会運営を目指し、「議会基本条例」を制定しました。

条例の制定に当たっては、約1年の時間をかけ、議会運営委員会を17回にわたって開催し、議員間で積極的に議論するとともに、パブリックコメントを実施し、市民の皆様からの貴重な御意見をいただきました。

条例では、議会が行う活動の基本原則を始め、議員の活動の原則、市民との関係、市長との関係などを定め、公正かつ透明性のある議会を目指します。

また、議員相互間の議論を積極的に行い意思決定することや、議員の政策形成能力の向上を図り、議会機能の強化に努めます。

さらに、市民への報告と意見交換の場として議会報告会を開催し、市民により開かれた議会を目指します。
※詳細は、ホームページをご覧ください。

議案質疑

議案質疑とは、提案された議案等（2面に掲載）に対して、詳しく知りたい点などを執行部に聞くことです。

3月定例会では、4人の議員が3月11日に議案質疑を行いました。その質問と答弁を要約して、一部を掲載します。

平成27年度予算 道路新設改良事業費

議員 市道24号線改良事業と、市道3号線改良事業の具体的な事業箇所及び内容について伺いたい。

都市建設部長 市道24号線の改良は、茨城大学工学部南側から市民運動公園交差点間の渋滞対策を図るもので、大学の南側と正門前の2箇所の交差点を改良して右折レーンやバスの停車スペースを整備するものである。



右折レーン整備が行われる茨城大学正門前交差点（中成沢町）

市道3号線の改良は、日立滑川温泉スタンド付近の日立バイパス交差点から県営田尻浜アパートまでの区間で、見通しの悪いカーブと交差点の改良を行い、交通の円滑化を図り南北軸の主要な道路とし

ての安全性を向上させるものである。

両事業とも、路線測量及び

詳細設計等の委託を実施する。

平成27年度予算 歳入歳出予算

議員 平成27年度は、過去最大規模の予算となったが、健全財政は維持できるのか。

また、予算編成方針及び各部からの予算要求の総額、それを査定した基準や考え方について伺いたい。

財政部長 平成27年度予算は、新庁舎や池の川さくらアリーナの建設などの震災復興関連事業、前期基本計画の着実な推進、人口減少問題への対応など積極的な予算編成を行った。

これらの事業には、国・県からの支出金や震災復興特別交付税を確保するとともに、交付税措置のある有利な地方債を活用し、後年度負担の抑制も図っている。

予算編成に当たつての各部からの要求額は725億円余で、経常経費と補助金では、平成26年度当初予算額を上限に設定するとともに、事業の緊急性や優先性を念頭に置き、要求内容を1件ごとに精査、調整した。

平成26年度補正予算 緊急消費喚起事業費

議員 緊急消費喚起事業の目的と概要について伺いたい。

産業経済部長 この事業は、国の交付金を活用し、緊急経済対策及び生活支援対策の2つの視点から実施するものである。

緊急経済対策として行うプレミアム付き商品券の発行は、消費の喚起と商店街の活性化を目的とし、1000円券6枚つづりを1セット5000円で販売する。発行数は8万セット、総額は割増し分を含め4億8000万円となる。さらに、生活支援対策として、児童手当を受給している約1万5500世帯に、プレミアム付き商品券を1セットずつ9300万円分を配布する予定である。

参加店舗については、小売店や飲食店のほか、生活関連サービス、教育・スポーツ施設の利用など多様な消費ニーズに応えられるよう、多くの業種、事業者に参加を働きかけた。

平成27年度予算 新交通導入事業費

議員 新交通導入事業費の

内訳と、大甕水木間のBRT専用道路に付随する歩道の整備内容について伺いたい。

都市建設部長 BRT専用道路整備費として約6億1900万円、この線橋整備工事費として、大甕駅南線橋が約2億7200万円、大甕駅北線橋が約6億1600万円、全体で約15億700万円を新交通導入事業費として計上している。



整備が進むBRT専用道路（東大沼町）

歩道整備については、BRT専用道路と大甕駅西口南北アクセス道路の間に挟まれた部分が幅員3・5メートルの歩道となる。両側が車道となることから、歩車道境界ブロックを設置し、カーブや交差点などの危険箇所にはガードパイプ等の防護柵を設置する計画である。

一般質問

一般質問とは、議案に関係なく市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを聞くことです。

3月定例会では、7人の議員が3月9日・10日に一般質問を行いました。その質問と答弁を要約して、一部を掲載します。

なお、掲載は抽選により決定した発言順としています。

日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できるようになっており、議会だよりでは、3人未満の場合は、無会派と表示しています。

塚田 明人 議員
(民主クラブ)

就労移行支援の体制

議員 障がい者の就労移行支援の公的施設は、桐木田福祉作業所1箇所のみで、定員は6人である。障がい者数は増加傾向にあるので、将来に向けて定員を拡大してはどうか、見解を伺いたい。



就労移行支援を行っている桐木田福祉作業所(宮田町)

保健福祉部長 市内には、

就労移行支援事業所が民間を含めて9箇所ある。今後、増加が見込まれる特別支援学校高等部の卒業生の受入れを想定し、就労移行支援への民間事業所の参画を要請するなど、引き続き受入体制の整備に努める。

議員 福祉作業所の開所時

間は午後3時までであるが、保護者の送迎が間に合わない場合もあるので、午後6時まで延長できないか。また、時間延長に対応するため、ボランティアを活用してはどうか、見解を伺いたい。

保健福祉部長 就労移行支援は、通所を含めて障害者の自立を目的としているが、送迎が必要な利用者もいることから、利用者のニーズ等を把握し、施設の運営体制の在り方やボランティアの活用について検討したい。

中小企業等の経営サポート

議員 中小企業の明確な経営戦略構築のため、企業が有する人材・技術・組織力などの知的資産を有効活用した新たな支援に取り組んではどうか、見解を伺いたい。

産業経済部長 財務諸表では見えにくい知的資産は、正に企業の強みである。この強みを把握し、収益力の高いビジネスモデルを見いだす知的資産経営は、中小企業の経営力を高める取組として国も推奨している。

市内でも、知的資産経営が営業力の向上や新製品の開発につながった事例があり、企

業競争力の向上等に有効な取組と考えている。先進事例の研究や日立地区産業支援センター・日立商工会議所と連携したセミナーの開催など、身近で実益性のある取組として周知を図るとともに、支援の在り方を検討したい。

伊藤 智毅 議員
(ひたち未来)

子育て支援策 拡充の展開

議員 4月から子ども・子育て支援新制度がスタートするが、どのようにして総合的な子育て支援策の拡充を図るのか、見解を伺いたい。



保健福祉部長 新制度のスタートに当たっては、平成27

年度から5箇年にわたる子ども・子育て支援計画の策定に

向け、約2年間をかけ、今後の子育て支援策を検討してきた。子育ての実態とニーズを把握するためのアンケート調査の結果を基に、子育て中の保護者や幼児施設の代表などで構成する「子ども・子育て会議」で議論し、計画に反映した。

増加する保育ニーズに対応するため、認定こども園への移行を促進し、保育定員を増やす取組や、放課後児童クラブの対象拡大と時間延長、一時預かりの実施箇所を増やす取組など、計画に盛り込んだ事業を着実に推進したい。子育て支援は、地域全体で取り組むべき課題であるという視点で、先進事例を調査研究し、平成27年度に策定する地方版総合戦略でも全市的な検討をしていきたい。

おおくぼ保育園の複合施設化

議員 おおくぼ保育園の建て替えに合わせ、地域の子育て支援機能と高齢者の健康増進機能を持った多世代交流型の複合施設としてはどうか、見解を伺いたい。

保健福祉部長 おおくぼ保育園は、末広地区の再整備に合わせ、多賀地区における子

育て支援の中心的な役割を担う施設として整備する予定で、平成27年度予算に園舎改築事業の基本・実施設計を計上している。



昭和40年建設のおおくぼ保育園（末広町）

園舎改築に当たっては、従来の保育園機能に加え、一時保育や地域子育て支援拠点事業を行う子育て支援センターとしての機能や、高齢者と園児、地域の親子など多世代が交流できる機能も併せ持った施設として整備したい。

小林真美子 議員

（無党派）

公共施設の

マネジメント

議員 公共施設マネジメント基本方針について、市の考えを伺いたい。

総務部長 人口減少、少子高齢化の進行を始め、厳しい財政状況の中、公共施設の現状を維持することが困難となってきた。持続可能な公共施設のマネジメントを推進するには、基本方針を基に、市全体や地域のバランスを考慮しつつ、複合化や統廃合を進めながら施設を整備していく必要がある。

同時に、公共施設に求められる機能も多様化、複雑化していることから、施設の在り方を見直し、効率的かつ効果的な管理運営に努めていく。

基本方針では、施設の削減を着実に進めながらも、質の高い施設サービスを提供すること、量から質への転換を図ることとしている。財政負担の軽減や人材不足の補完、地域活性化への寄与など、様々な効果が期待される民間活力を導入しながら、市民ニーズに的確に対応できる管理運営を目指したい。

石井仁志 議員

（ひたち未来）

大甕駅西口

駅前広場の整備

議員 大甕駅西口駅前広場の整備の概要と見通しについて伺いたい。

て伺いたい。

都市建設部長 大甕駅西口駅前広場は、駅舎、東西自由通路、BRT専用道路、南北アクセス道路など一体的な整備を図り、新たな交通結节点を形成することにより、大甕駅周辺地区の更なる発展に大きく寄与する重要な都市施設である。



大甕駅西口整備予定地（大みか町）

広場の面積は、約4500平方メートルで、形状は駅利用者への安全・安心と利便性を確保するため、乗用車とバスを分離し、東西自由通路の出入り口を挟んだ南北両側に2つのロータリーを配置する。広場の整備に先行して駅舎及び東西自由通路の工事を行うため、JR東日本との調整を図りながら、平成30年度末の完了を目指して整備する。

**日立市版の
総合戦略策定**

議員 国の平成26年度補正予算で創設された交付金の目的と使途、地方版総合戦略との関係について伺いたい。

企画部長 新たに創設された交付金は、景気回復が遅れる地方の消費喚起や生活支援を目的とした地域消費喚起・生活支援型交付金と、地方版総合戦略の策定を支援し、「しごと」と「ひと」の好循環の確立を目的とした地方創生先行型交付金の2つで、プレミアム付き商品券を発行するとともに子育て世帯にこの商品券を配布する事業や、地方版総合戦略の策定事業など、14事業を予定している。

地方創生先行型交付金事業は、本来であれば平成27年度から実施する中長期的な視点に立った事業であり、平成27年度に策定する日立市版総合戦略に盛り込む予定である。

伊藤健也 議員

（民主クラブ）

地方創生の

考え方と方向性

議員 市は、日立市人口問題対策推進本部を日立市地域

創生本部に改め、地方版総合戦略の策定に着手したようだが、市の地方創生の考え方や方向性を伺いたい。

企画部長 定住人口の維持・拡大を目指し、若年層や子育て世代の定住促進に関する施策に総合的に取り組むため、昨年11月に日立市人口問題対策推進本部を設置したが、国の地方創生の動きに合わせ、今年2月にその体制を日立市地域創生本部に改め、平成27年度から5箇年を計画期間とする地方版総合戦略の策定に着手した。

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、地方における安定した雇用の創出を始めとする4つの基本目標を掲げており、地方版総合戦略の策定は、これを勘案することとされている。人口減少を克服し、まちの活力の維持のためにも5箇年という期間にとられず、より長期的な視点に立つて策定していきたい。

スポーツ広場の

専用化と整備

議員 スポーツ広場の専用化と人工芝の整備をすることで県内外のチームの招へい、技術やチーム力の向上を図られるものと考えているが、見解を

伺いたい。
教育部長 専用化については、競技団体との意見交換を踏まえ、折笠スポーツ広場をサッカーとラグビー、諏訪スポーツ広場を野球と想定し、検討している。

人工芝の整備は、利用機会が増大するばかりでなく、各種大会の開催や誘致、競技力の向上、交流人口の拡大などにもつながるものと考えている。今後、財源確保に努めながら、計画的に整備を進めていきたい。



専用化が検討されている折笠スポーツ広場（折笠町）

中川 雅子 議員
 （日立市政クラブ）

「終活」講演会と
 エンディングノート

議員 市民が幸せに、安心

して最期を迎えられるように、市が主催して「終活」に関する講演会や学習会などを開催してはどうか、見解を伺いたい。

教育長 「終活」については、ひたち生き生き百年塾や日立市らぼーる協会などが主催する講座が好評を得ている。「終活」について広く市民の理解を深め、誰もが人生の終末を安心して迎えられるよう、関係機関と連携し、講演会や学習会の開催を検討したい。

議員 市独自に、緊急連絡先やかかりつけ医を記入するプチ・エンディングノートを作成、配布してはどうか、見解を伺いたい。

教育長 プチ・エンディングノートは、いざというときの備えとして有効な手段の1つであり、市内9学区で工夫を凝らして独自に取り組んでいる。先進事例などを調査し、本市に合ったエンディングノートの在り方を研究、検討していく。

「しあわせ度」を
 活用した事業の検証

議員 日立市地域創生本部の基本目標は、人口減少の抑制であるが、本市の人口はど

のように推移すると想定しているのか。また、市民の「しあわせ度」を数値化し、客観的な指標として、地方版総合戦略などの計画づくりや事業の検証に反映させてはどうか、見解を伺いたい。

企画部長 市の人口は、昭和58年の20万6260人をピークに減少傾向に転じ、国立社会保障・人口問題研究所の分析では、平成42年には16万1155人まで減少すると推計されている。人口は都市の活力を表わす重要な指標の1つであり、定住人口の維持確保は大きな課題であると認識している。

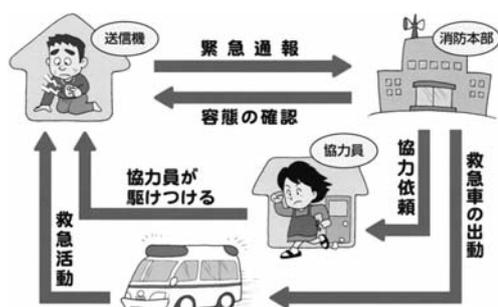
「しあわせ度」を指標とすることにについては、地方版総合戦略の事業に成果指標の設定と評価が求められていることから、導入が可能かどうか、あるいは総合計画の後期基本計画の策定過程の参考指標にできるかどうか検討したい。

添田 絹代 議員
 （公明党）

緊急通報システム
 事業の現状

議員 高齢者世帯の見守りサービスとして重要な緊急通報システムの設置状況、相談

窓口となる関係機関との連携の状況について伺いたい。



緊急通報システムのしくみ

保健福祉部長 市では、ひとり暮らしの高齢者や重度の障害者などを対象に、病気やけがなどの緊急時に、本人がボタンを押すだけで消防本部に通報できる緊急通報システムを導入している。

市内で2040件設置しており、直近では年間約200件の通報のうち、約150件が病院への緊急搬送に至っている。

このシステムは、民生委員、親族、近隣の協力員、地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどが一体となつて、自宅の電話回線や、かかりつけ医の有無、緊急連絡先の把握などの状況調査等を

行つて初めて有効になる。多様な支援主体が連携できる体制を更に強化していきたい。

代読・代筆
 サービス支援

議員 視覚障がい者や高齢者など、読み書きに支障のある人を対象とした支援の充実が必要と考えるが、市の代読・代筆サービス支援の現状と仕組みづくりについて見解を伺いたい。

保健福祉部長 障害者への代読・代筆については、障害福祉サービスでは、視覚障害者の外出にヘルパーが同行する中で行っているが、代読・代筆に特化したサービスメニューはないのが現状である。

代読・代筆は、視覚障害者ばかりでなく、避難所における災害弱者や高齢者など広範囲でニーズがあり、誰もが安心して暮らすことのできる共生社会の実現に向けて重要な課題であると認識している。

今後、潜在ニーズの把握に努めるとともに、身近な地域で支え合うネットワークを一層推進するため、関係機関との連携強化や意識啓発、市民ボランティアの養成等について検討していきたい。

議会日誌

(1月～3月)

●1月

- 7日：議会報編集委員会
- 8日：全国市議会議長会
- 13～14日：県北市議会議長会
- 14日：新庁舎建設特別委員会
- 22～23日：茨城県市議会議長会

●2月

- 5日：全国市議会議長会
- 12日：全国市議会議長会
- 18日：総務産業委員会、教育福祉委員会、環境建設委員会
- 23日：新庁舎建設特別委員会、議会運営委員会
- 25日：議会運営委員会

●3月

- 2日：議会運営委員会
- 4日：第1回市議会定例会開会（予算案概要説明、議案説明、議案質疑、委員会付託、委員長報告、表決）、新庁舎建設特別委員会、議会運営委員会
- 9日：本会議（議案説明、一般質問）、議会運営委員会
- 10日：本会議（一般質問）
- 11日：本会議（議案質疑、委員会付託）、議会報編集委員会
- 12～13日：総務産業委員会、教育福祉委員会、環境建設委員会
- 17日：幹線道路整備促進特別委員会
- 18日：新庁舎建設特別委員会
- 19日：議会運営委員会
- 20日：第1回市議会定例会閉会（各委員長報告、討論、議案説明表決）、全員協議会
- 26日：議会報編集委員会

6月定例会の予定

今回の定例会は、4月26日に行われる日立市議会議員一般選挙の後に決定する予定です。

詳しい日程は、日立市議会ホームページや市報、ケーブルテレビの行政放送などでお知らせいたします。

傍聴者の声



初めての一般質問を傍聴して

十王町城の丘 菅谷 孝子

友人の紹介で今回初めて市議会の一般質問を傍聴しました。「保育士の確保」「発達障がい児の支援」「高齢者、障がい者の福祉サービス」、幸せな終末を迎えるための「終活」など、身近な問題が細かく具体的に質疑応答がなされていました。

2人の小学生の子育て真っ最中の私にとって、関心のある内容でしたので、メモを取りながらの傍聴でした。保育士の確保については、これから日立市で子どもを育てていくには、大切な課題だと思いました。

また、発達障がい児支援の中でペアレントトレーニング、ペアレントメンターと初めて聞く言葉でしたが、市がいろいろな取組をされていることも分かりました。子供の将来のためにも、私自身が今の政治や地域の様々なことにもっと興味を持ち、関わっていくことが大切であると強く感じました。今後も、住みやすく安心安全な日立市になるように期待しております。

定例会中の一般質問を視聴することができます

一般質問をインターネット生中継と録画放送
 ※録画放送は、会議の日の約1週間後から視聴できます。

ホームページ

○ホームページでは、視聴のほか、これまでの本会議（一般質問、議案質疑、各委員長の報告など）の詳しい会議録を掲載しています。今定例会の会議録は、5月下旬に発行する予定です。なお、印刷した会議録は、市役所公文書公開室、市内各図書館でもご覧になれます。

ケーブルテレビ 一般質問を
 ケーブルテレビJWAY (11ch) で生中継

FMラジオ 一般質問を
 FMひたち (82.2MHz) で生中継

議会を傍聴しませんか

本会議を傍聴するときは議場傍聴席入口で、常任委員会を傍聴するときは議会事務局で、氏名・住所などを記入してください。傍聴席は議場に42席、各委員会室に5席あります。議場傍聴席(4階)への階段の昇降が困難な方は、事前に議会事務局へご連絡ください。
 (☎22-3111)

臨時庁舎(A棟1階)で本会議のモニター放映をご覧ください。



議会報編集委員会

- 委員長 飛田謙一 ●副委員長 村田悦雄
- 委員 高安博明、石井仁志、中川雅子、三代勝也

※この「日立市議会だより」は再生紙を使用しています。